

専門教育科目

講義科目

授業科目名	教養としての落語	科目コード	配当年次	単位
担当教員	立川 談慶	HH95	1	2
<b>科目の概要</b>				
<p>世界のビジネスパーソンにとって、「自国の文化・伝統芸能」は教養として当たり前の知識であり、コミュニケーションツールとなっている。</p> <p>本科目では、人の心をつかむ術を身につけ、日本の文化・価値観を知るツールとなり、また、人間の変わらない本質を教えてくれる「落語」の歴史や、最低限知っておきたい知識、知っておくと一目置かれる話などについて学習する。</p>				
<b>科目の到達目標</b>				
<p>①落語を含めた日本の文化・伝統芸能とその価値観を理解し、説明できる。</p> <p>②学習した知識を基に現実の問題を考察でき、自身の生活や行動に活用することができる。</p>				
テキスト	『教養としての落語』立川 談慶, サンマーク出版, 2020年			
<b>テキストの読み方</b>				
<p>①第1～2章で落語の歴史や基本的な知識を身につけ、第3章で名作といわれる古典落語を理解する。</p> <p>②第4章では他の日本の伝統芸能と比較により落語の特徴を理解し、第5章で落語界に影響を与えたレジェンドの功績を知る。</p> <p>③第6章で世界の笑いの特徴を理解し、第7章は落語がどのように自身のビジネスや生活に結びつくかを考える。</p> <p>※P176～P180（フランス人はエッチな話がお好き？）は学習範囲に含めません。</p>				
<b>単位修得の方法</b>				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				